

生物多様性条約第10回締約国会議  
カルタヘナ議定書第5回締約国会議  
(COP10/MOP5)

ロゴマーク及びスローガンのコンセプト及び仕様等

## 1 ログマーク及びスローガンのコンセプト

### (1) ログマーク

ログマークは、日本の折り紙を円形に配置し、中央に人間を配することにより、人類と多様な生きものとの共生を表現しています。また、人間の親子は、豊かな生物多様性を将来に引き継いでいこうという思いを表現しています。折り紙は日本の知恵と文化を象徴するものです。

COP10では、2002年の第6回締約国会議で採択された「2010年までに生物多様性の損失速度を顕著に減少させる」という『2010年目標』の達成状況の評価とその後の目標の設定や、条約戦略計画の改訂など、生物多様性条約に関する今後の方向性を決めることや国際的なルールづくりに関して議論が行われる予定です。

多様な折り紙を円形に配することは、国の内外から1万人近くが集まるとされている会議の議長国を務める日本が、それぞれの国々が抱える事情にも配慮して、日本らしい会議の舵取りをしていくことも意味しています。



### (2) スローガン

スローガンは、ログマークに対応するかたちで、未来に向けた人類を含む全ての生きものとの共生を表現しています。COP10の共通テーマを踏まえ、地球上の豊かな生物多様性を次の世代に引き継いでいくという決意を表しています。

(英語) Life in harmony, into the future

(日本語) いのちの共生を、未来へ

## 2 ロゴマークの仕様について

### (1) ロゴマークの表示色について

ロゴマークの表示色には、カラー、モノクロ、単色の3つの種類があります。カラーとモノクロについては、それぞれ指定の色彩を使用して下さい。また、色の濃い背景に表示する場合には、周囲にゆったりとした白マドを設けて下さい。なお、白マドは別途指定のある保護エリアのサイズと同じか、それより大きくして下さい。単色に限り、ネガティブ表示及び素材色を活かした表示が可能です。

#### カラーバージョン



<b>ゾウ</b>	プロセス/C100+M50 特 色/PANTONE 2935C	<b>ラクダ</b>	プロセス/M60+Y100 特 色/PANTONE 158C
<b>樹木</b>	プロセス/C100+M10+Y100 特 色/PANTONE 356C	<b>ゴリラ</b>	プロセス/C60+M100+Y80 特 色/PANTONE 195C
<b>花</b>	プロセス/M80+Y20 特 色/PANTONE 1915C	<b>フラミンゴ</b>	プロセス/M70 特 色/PANTONE 224C
<b>ウミガメ</b>	プロセス/C100+M80 特 色/PANTONE 2736C	<b>蝶</b>	プロセス/C40+M70 特 色/PANTONE 7441C
<b>シロクマ</b>	プロセス/C65+Y10 特 色/PANTONE 298C	<b>小鳥</b>	プロセス/C50+Y100 特 色/PANTONE 376C
<b>セイウチ</b>	プロセス/C50+M70+Y100 特 色/PANTONE 7516C	<b>カンガルー</b>	プロセス/M35+Y100 特 色/PANTONE 130C
<b>魚</b>	プロセス/C100+Y40 特 色/PANTONE 320C	<b>ペンギン</b>	プロセス/C50+K30 特 色/PANTONE 549C
<b>イルカ</b>	プロセス/C80+M25 特 色/PANTONE 279C	<b>ヒト</b>	プロセス/C10+M100+Y100 特 色/PANTONE 186C

#### モノクロバージョン



<b>ゾウ</b>	K85	<b>ラクダ</b>	K50
<b>樹木</b>	K65	<b>ゴリラ</b>	K85
<b>花</b>	K40	<b>フラミンゴ</b>	K65
<b>ウミガメ</b>	K65	<b>蝶</b>	K40
<b>シロクマ</b>	K50	<b>小鳥</b>	K40
<b>セイウチ</b>	K85	<b>カンガルー</b>	K50
<b>魚</b>	K40	<b>ペンギン</b>	K40
<b>イルカ</b>	K65	<b>ヒト</b>	K90

#### 単色バージョン (網点が使用できない場合)



■ K100



ネガティブ

□ WHITE

## (2) スローガン等との併記について

ロゴマークは単独でも使用できますが、会議の名称、趣旨などの理解を促進し、またロゴマークの性格をわかりやすく表示するため、可能な限り、スローガン、会議名称・会議開催地などを併記して下さい。

### ①会議の名称・会議開催地（日本語）

生物多様性条約第10回締約国会議及びカルタヘナ議定書第5回締約国会議  
(COP10/MOP5と表記可。) 愛知-名古屋 2010

### ②会議の名称・会議開催地（英語）

COP10/MOP5 AICHI-NAGOYA, JAPAN 2010

## (3) 最小使用サイズについて

ロゴマークの最小使用サイズは直径15mmとします。



15mm

## 3 スローガンの仕様について

スローガンには、日本語版と英語版の2種があり、いずれか一方若しくは両方の併記が可能です。フォントは特に指定していませんが、極端な文字の形態や大きさを避けて下さい。スローガン単独でも使用できますが会議の名称、趣旨などの理解を促進し、またスローガンの性格をわかりやすく表示するため、可能な限り、ロゴマーク、会議名称・会議開催地、ロゴマークなどを併記して下さい。

#### 4 ロゴマーク、スローガンの組み合わせ形について

##### (1) 組み合わせ形

ロゴマーク、スローガン、会議名称等の組み合わせ形を英語版と日本語版それぞれ5種作成しています。ロゴマーク、スローガン等の使用に際しては、この例に限るわけではありませんが、可能な限り、これらのタイプに準拠して使用して下さい。

##### 英語版

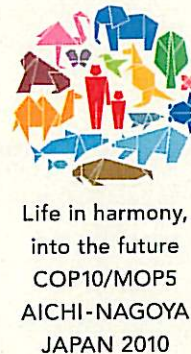
A type



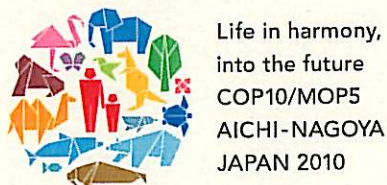
B type



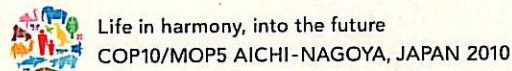
C type



D type



E type



##### 日本語版

A type



B type



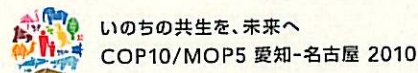
C type



D type



E type

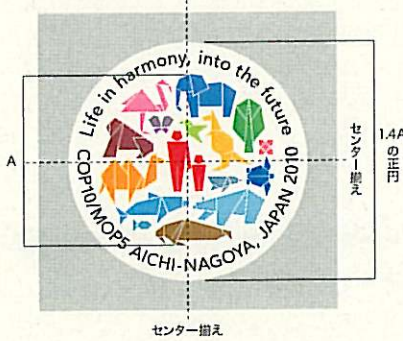


(2) 保護エリア

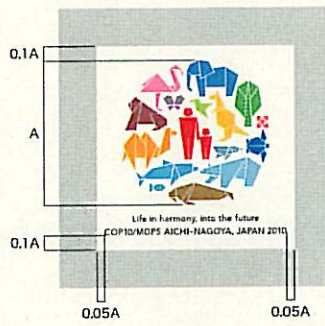
それぞれの表示例に保護エリアを設定していますが、これらの例以外の方法で使用する場合にも、これらの例を参考に、必要な保護エリアを必ず確保して下さい。

英語版

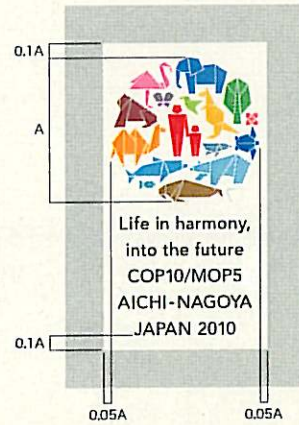
A type



B type



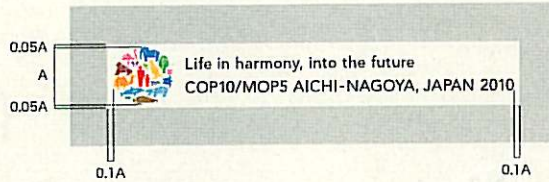
C type



D type

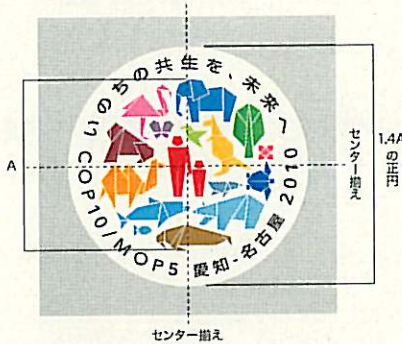


E type

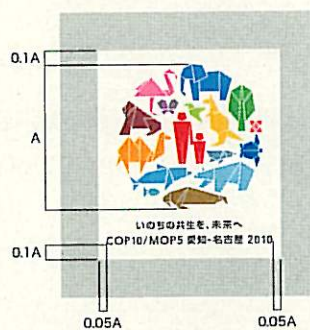


日本語版

A type



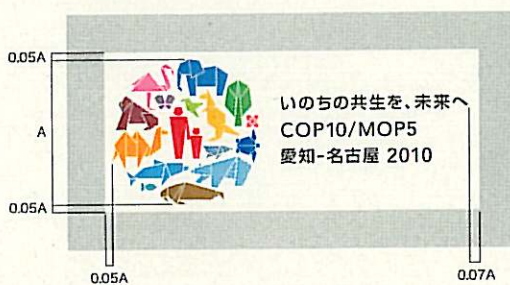
B type



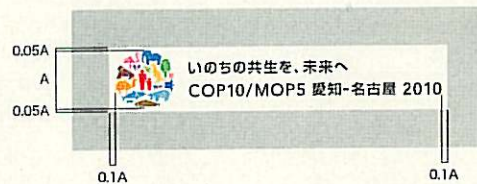
C type



D type

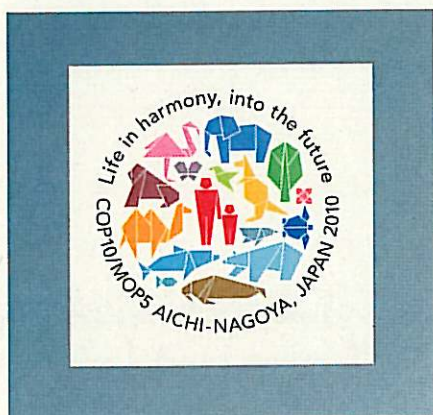


E type

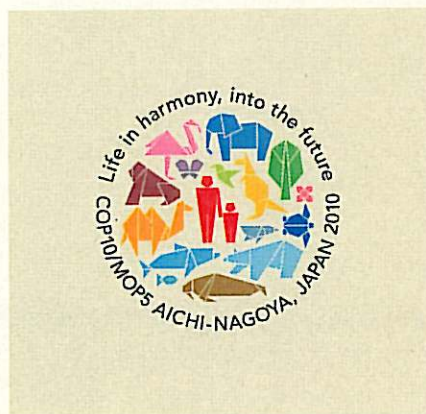


### (3) ロゴマークの表示例

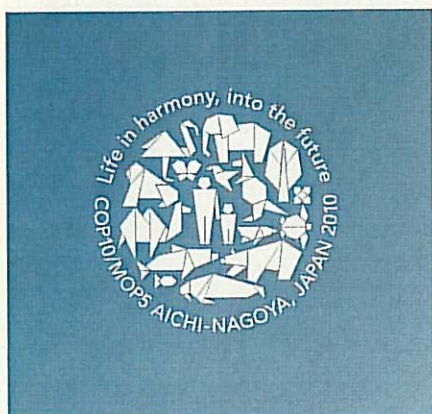
下記を参考にロゴマークが効果的に表示されるよう心掛けてください。



色の濃い背景に表示する場合は周囲にゆったりとした白マドを設けてください



ロゴマークの視認性を損なわない程度の淡い背景であれば白マドなしで表示できます



単色バージョンに限りネガティブで表示できます



単色バージョンに限り素材色を活かした表示ができます

「生物多様性条約第10回締約国会議／カルタヘナ議定書第5回締約国会議（COP10／MOP5）ロゴマーク及びスローガンのコンセプト及び仕様等」に定める以外の事項については、環境省自然環境計画課までお問い合わせください。